友生小だより

伊賀市立友生小学校　No.１１　２０２６年９月２９日



保健室前の掲示より

インターネットと正しくつきあうために・・・



９月１０日（木）に4～6年生が、「ヒューリアみえ」の小井勇一さんを講師にお招きし、「メディア・リテラシーと人権 考えよう、わたしたちにできること～自分もみんなも大切にするために～」と題してお話を聞かせていただきました。スマートフォン等が普及し、小学生のうちから自分の端末でインターネットや SNS を利用する子どもが多くいます。本校でも高学年になると自分のスマートフォン等を所有している子も増え、低・中学年においても家族の使わなくなった端末等を自由に使っている子もいます。すっかり生活の一部となり、欠かせないものですが、使い方によっては自分やほかの人を傷つけてしまうこともあります。人権の視点からも正しい使い方を学び、自分で判断できる力（メディア・リテラシー）を身に付けることの大切さを教えていただきました。

また事前に保護者の皆様にもご案内させていただいたところ、当日子どもたちと一緒にお話を聞いていただいた保護者の方もお見えになりました。ありがとうございます。

子どもたちの感想から

○これまでも人権のお話を聞いてきたから、小井さんのお話を聞いて、余計言葉遣いには気をつけようと思った。

○メディアを使う時は、言葉遣いに気をつける。「コメントだから書ける」じゃなくて、「直接その人に言えるのか」を考える。

○お話を聞いて、自分に重なっていました。自分の知らないところで人を傷つけてしまっているかもしれないから、そこを気をつけていきたい。

保護者の方の感想から

○正しい判断をするのは、子どもだけでは難しいので、たくさん話を聞いて、親や周りの大人たちが教えてあげるのも大切だと改めて思いました。

○「例えば」の場面を多く出してくれたので、場面を想像しやすく、分かりやすかったです。子どもたちに日頃伝えようとしても、なかなか上手く伝えられないですが、今日のメッセージは子どもたちにも充分伝わったと思います。

1年生「にじいろ i-Ru（アイル）」さんとの出あい学習



9月15日（火）に1年生が、「にじいろ i-Rru（アイル）」の近藤孝子さん（こんちゃん）と田中一歩さん（いっぽさん）をお招きして出あい学習を行いました。お二人は、全国で性の多様性について出前講座を実施しながら、子どもたちに「ありのままの自分」でいることの大切さを伝えています。

いろんな形の家族があることや、ご自身が自分の性自認で悩まれた経験、安心して自分の正直な気持ちを伝えられる相手との出会いなどの話を通して、互いのちがいを尊重しあうことの素晴らしさや、ありのままの自分に自信をもって生きることの大切さなどを、1年生にも分かりやすくお話してくださいました。

子どもたちの感想から

○勉強になったよ。友だちを大事にするよ。また一緒に勉強しようね。またきてね。

○いっぽさんは、男の子でも女の子でも、わたしはどんないっぽさんでも好きだよ。

○いろんな気持ちがいっぱいだった。いっぽさんの子どものときどんな気持ちだったか分かった。

前期最後の全校集会



9月16日（水）に前期最後の全校集会を行いました。わかば会役員の司会進行のもと、今回は放送委員会、生活委員会、清掃美化委員会、栽培委員会の各委員から発表がありました。放送委員会は正しい放送の仕方を発表し、生活委員会はあいさつを積極的にするよう全校に呼びかけました。清掃美化委員会は、正しいごみの分別や出し方をイラストで説明し、栽培委員会は植物クイズを行いました。どの委員会も、自分たちで内容を考え、劇やクイズなどを交えながら、楽しく、分かりやすく発表することができていました。



委員会活動は子どもたちの自治の力を育てる大切な取組です。後期もそれぞれの委員会で、全校のために楽しみながら自主的に活動していってほしいと思います。